

みずほCustomer Desk Report 2016/10/17号(As of 2016/10/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.74	1.1048	114.61	0.9868	1.2221	0.7563
SYD-NY High	104.48	1.1060	115.05	0.9905	1.2262	0.7647
SYD-NY Low	103.61	1.0971	114.23	0.9856	1.2168	0.7557
NY 5:00 PM	104.16	1.0971	114.31	0.9905	1.2190	0.7618
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.85/11.245		△25RR	1.658	Yen Call Over	
NY DOW	18,138.38	39.44	債券市場	日本2年債	-0.2670	▲0.7bp
NASDAQ	5,214.16	0.83		日本10年債	-0.0540	0.2bp
S&P	2,132.98	0.43		米国2年債	0.8348	0.0bp
日経平均	16,856.37	82.13		米国5年債	1.2866	2.8bp
TOPIX	1,347.19	4.88		米国10年債	1.7977	5.7bp
シカゴ日経先物	16,910	105.00	為替市況	独10年債	0.0580	2.0bp
ロンドンFT	7,013.55	35.81		英10年債	1.0970	7.3bp
DAX	10,580.38	166.31		豪10年債	2.2630	1.9bp
ハンセン指数	23,233.31	202.01		USD/CNH	6.7376	0.0034
上海総合	3,063.81	2.46		ドルインデックス	98.02	0.50
USDJPY 3M Vol	11.16	▲0.42%	商品市況	CRB指数	189.467	0.32
USDJPY 6M Vol	11.24	▲0.15%		NY金	1,255.500	▲2.10
EURJPY 3M Vol	11.43	▲0.42%		WTI	50.350	▲0.09
EURJPY 6M Vol	11.80	▲0.19%		Dubai Spot	49.93	0.81

東京	東京時間のドル円は、103.74レベルでオープン。みなし五・十日とあって仲値にかけては本邦輸入勢の買い等が先行し、103.89までじり高の展開。前日発表された弱い中国9月貿易収支とは対照的に、同消費者物価指数ならびに同生産者物価指数が市場予想比良好な結果となると、リスク選好度が改善、日経平均株価が前日比プラス圏で底堅い推移を見せたことに支えられ、ドル円も堅調推移となると104円台を回復し、104.05レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は104.05レベルでオープン。アジア時間のリスクオンの動きが継続する中、一時ドル円が104.41まで上昇後、104.26レベルでNYへ渡った。ボンドドルは1.2196レベルでオープン後、1.2170レベルまで下落した後1.2252レベルまで反転。反転の背景としては英中銀総裁からの「われわれの職務は為替レートではなくインフレをターゲットとすることだ。だからといってボンドの水準を意に介さないわけではない」との発言。その後、戻り売りとなり1.2196レベルにてNYへ渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.26レベルでオープン。朝方発表された米大手銀の決算が予想を上回ったことや、米9月小売売上高速報(前月比)の前回値が上方修正、PPI最終需要が予想を上回ったことからドル円は一時104.48まで上昇。その後発表された10月ミシガン大学消費者マインドが予想を下回ったことや、高く寄り付いたダウ平均がプラス幅を縮小したことからドル円は104.00付近まで下落。午後に行われたイエレン議長の講演は特段新規材料が見当たらなかったことから一旦ドル売りが強まり、ドル円は103.80を付けるが、ゆっくりとした利上げを指示するような内容であったことから長期債の売りが強まり、引き際に104.26まで上昇し、104.16レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.1007レベルでNYオープン。米金利上昇を受けてドル買いが強まると昨日安値の1.0985を抜け、1.0971レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月14日	8:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	10:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-
	10:30	中 CPI/PPIC(前期比)	9月 1.9%/0.1%	1.6%/-0.3%
	21:30	米 小売売上高(前月比)	9月 0.6%	0.6%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	9月 0.3%/0.7%	0.2%/0.6%
	21:30	米 PPIコア(前月比/前年比)	9月 0.2%/1.2%	0.1%/1.2%
	21:30	米 ローゼンゲン・ポスト連銀総裁講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド	10月 87.9	91.8
10月15日	2:30	米 イエレンFRB議長講演	-	-

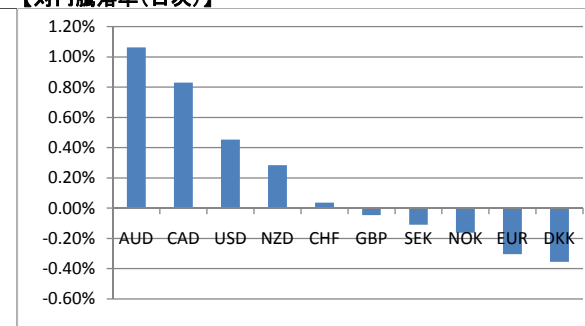
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月17日	9:30	日 黒田日銀総裁、全国支店長会議挨拶	-	-
	18:00	欧 HICP・確報値(前月比/前年比)	9月 0.4%/0.4%	0.1%/0.2%
	18:00	欧 コアCPI・確報値(前年比)	9月 0.8%	0.8%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	10月 1.00	-1.99
	22:15	米 鉱工業生産	9月 0.2%	-0.4%
10月18日	1:15	米 フィッシャーFRB副議長、講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.50—105.00	1.0950—1.1050	113.50—115.00

【マーケット・インプレッション】

前週末の海外市場でのドル/円は上昇。北米時間に発表された米9月小売売上高と米9月PPIの内容が堅調であったことなどから、米国の年内利上げ観測が支えられる形となりドルを下支えた。イエレン米FRB議長のハト派的な発言を受け、ドル/円は一時上げ幅を縮小する場面もあったが、12月の米利上げ観測を大きく後退させるほどの内容ではなかったことなどから結局104円台前半で越える形となった。本日のドル/円は方向感に欠ける展開を予想。本日は米9月鉱工業生産指数などの発表を予定しているが、既に米国経済の底堅さや米年内利上げ観測について市場への織り込みが進んでいることから、積極的なドル買いには繋がらないと考える。むしろ、本日予定している米国主要企業の決算内容に注目したい。ダウ平均株価の変動に連られるドル/円相場に注意したい。